



和田の世帯数・人口

世帯数	1,439 戸
人口	4,179 人
男	2,029 人
女	2,150 人

(平成 28.9.1 現在)

7月23日(土)、心配された天候も実行委員会の周到な準備と成功に向けての熱意が天に通じ、晴天のもと第8回「わだ夏まつり」が盛大に開催されました。「地区住民が集う真夏の祭典」というコンセプトで、大人も子どもも楽しめる場を作り上げ、元気で活力のある和田地区にしよう

との大企画でした。当日は出店の方を担当させて頂いたいただきましたが、毎年工夫を凝らして取り組んできた実績や経験が随所にみられ、定番の出店だけでなく、健康チェックのコーナーやあそびのひろばにも多くの人の列ができて、大変な盛況でした。

集う楽しさ

盛況の「わだ夏まつり」

7月23日に、わだ夏まつりがありました。

私の地区は6年生が1人しかいないので、5年生の私が副地区長です。ですので、今年は初めてあそびのひろばのお手伝いをしました。私の仕事の分たんは、ストラックアウトのスタンプおしと点数書きでした。途中からボールをわたして投げる場所まで案内する仕事もしました。初めはいやでした。(友達は遊んでいるのに自分だけ仕事をやるのはやだな。)と思ったから

です。でも、やってみたらとても楽しかったです。あまり経験できないことがやれてよかったです。

仕事が終わった後で、友達といろいろな出店をまわりました。みんなで、フランクフルトやかき氷を買って食べ、いっこをしました。それから、ヨーヨーつりもしました。自分のほしい物が見つけたのでうれしかったです。

暑い中で大変だったけど、参加できてよかったです。

中 小5 中村 結彩

中山太鼓連の迫力のある和太鼓や若々しくテンポのよい高綱中吹奏楽部の演奏も素晴らしいものでした。

幼児から小・中学生まで、和田にもこんなに多くの子どもがいるんだと元気をもらえたこと、また若い人から高齢者まで多くの方々の元気な活躍ぶりを感じられたこと、そして、普段あまり顔を合わすことのない方々ともちよつとした会話ができたこと等、集うことの良さを実感した夏まつりでした。

南和田 荘 豊郎



おもしろかった人形げき

— 映画と語りの会 —

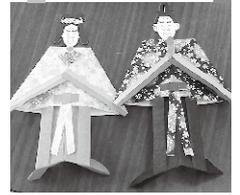
今日、公みかんで人形げきを見ました。今まで本や紙しばいの読み聞かせは何度も見たことがありましたが、人形げきはあまり見たことがありませんでした。たくさんのお友だちが集まって、始めるのを楽しみにしていました。私は、「三匹のやぎのがらがらどん」がおもしろいと思いました。草を食べに橋を渡ろうとする三匹のやぎとやぎを食べようとするトロールというよいかいのかけひきがおもしろかったです。人形げきは絵本などどちがって動きもあっておもしろかったです。

中 小3 西村 璃子



はしの下にはきみのわるい大きなトロールがすんでいました。山のくさばにいくにははしをわたらなければなりません。

たなばた
にんぎょう
づくり



さいしよに、先生からぶひんをもらいました。ぶひんを手にしたときはうれしかったです。

つくりはじめはかんたんですが、だんだんむずかしくなっていました。ひこぼしのズボンがむずかしかったです。じぶんがわからないところは、先生が教えてくれました。だから、さいごまでつくれました。おりひめとひこぼしがかわいくつくれてよかったです。

衣外 小2 いそべ さき



じょうずに
できました

しんけんにつくったので

思いのまま
熊本地震の炊き出しに参加して

熊本地震が発生した4月14日から10日程経った25日早朝、食材等を積んだ車2台で、炊き出し隊6名が松本を出発。10時間かかって宿となる、山口県周南市の原江寺に到着。寺の入口には六文銭の幟旗が立ち、真田幸村の長男信幸のお墓もあるということだった。また、我が家の宗派と同じ曹洞宗のお寺で、住職の奥様が上田出身など、何かに導かれているようで縁を感じ、本格的なボランティアは初めてで、多少の不安もあったが元気をもらった。

翌日のお昼近くに益城町入り。高速道路は運送に支障のないように補修されていて、比較的スムーズに現地入り。途中、瓦が崩れていたり、倒壊したりした家屋が多く見られた。避難所になっている広安西小学校では、300人ほどが避難所生活を送っていた。九州各県から駆けつけた僧侶の方、現地ボランティアの方と我々の17名で、テントを設営し、炊き出しの準備

にかかる。この日は夕食にお弁当が配給されると聞いていたので、豚汁を作ることになっていた。温かいうちに食べてもらおうと必死で器に盛り付け、手早く手渡す。ただ機械的に配らず「お待たせ」とか「おじいちゃん熱いから気をつけて」とか、慌ただしい中、のちよつとした声掛けで、笑顔が見られるのはうれしかった。

27日は、食事の合間に、コーヒーマシンで入れたコーヒーも用意した。いれたてのコーヒーにはほっと一息ついて「おいしいね。ずっとコーヒー飲



おいしく食べてもらえるように



コーヒーフルーツポンチ
そして、笑顔

みたかったんだ。ありがとう」「もう一杯飲めるかね?」「久しぶりにゆつくりできたよ」など、避難生活に一杯のコーヒーがもたらした効果は大きかった。食事は、お腹だけでなく、気持ちも満たしてくれるものと改めて思った。コーヒー以外にも、フルーツポンチ、キムチの漬物も大好評で、我々作る側も皆さんの笑顔に疲れもどこへやら。

今回の炊き出し隊のリーダーは飲食店の経営者だったので、作って提供する以外にも、テーブルクロスをかけた、サラダをかわい容器に盛り付けたりなどの心遣いがあり、たくさん笑顔をもらうことができた。食べ物に心を添えて届けるのが大切だと思った。

太子堂 中野 均

お知らせ

○8月28日(日)に行われた河西部球技大会の結果は、次の通りでした。

- ・卓球(硬式)
 - 優勝 和田
 - 準優勝 新村
 - 3位 島立
- ・卓球(ラージボール)
 - 優勝 和田
 - 準優勝 島立

- 3位 島内
- ・家庭婦人バレーボール
 - 優勝 和田
 - 準優勝 島立
 - 3位 島内
- ・軟式野球
 - 優勝 島立
 - 準優勝 島内



私たちが優勝しました!
(家庭婦人バレーボール)

編集後記

今年の夏は猛暑となりまして、ブラジルのリオでのオリンピックも開催されて、連日の「暑い暑い」毎日に寝不足の方も多かったのではないのでしょうか。メダルの数が過去最高でしたが、日本選手の中でも長野県出身の選手の活躍は喜ばしいことでした。台風被害の悲しく、心が痛むニュースもありました。今号は夏祭りをメインにしました。読みながら、それぞれの夏を思い出していただければと思います。

塩原 千恵子